

△体育祭の開会式場で紹介された
「都留かいじクラブ」

第三十九回国民体育大会関東地区大会(予選)が八月二十五・二十六日の二日間、わたり住吉球場で行われます。この大会に地元の熱い期待を担う「都留かいじクラブ」も山梨県代表として埼玉県代表と一回戦を戦うことになっております。市民の皆様のご声援をお願いいたします。

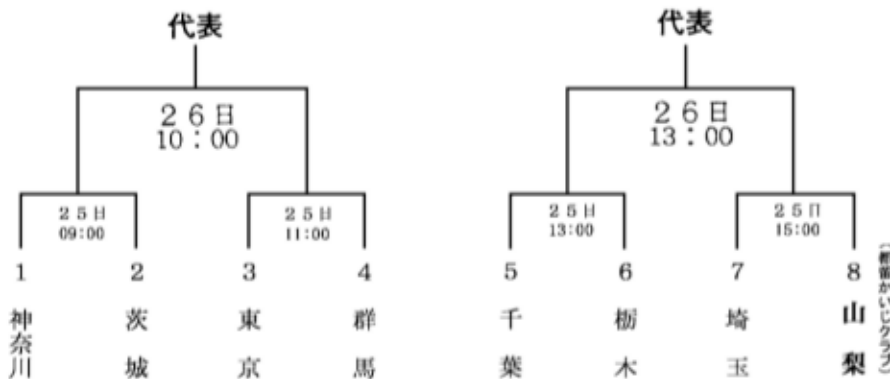


第39回 国民体育大会関東地区大会組合せ

開会式 8月25日(土) 午前8時

会場 都留市営住吉球場

(少年男子)



初戦突破を
めざして



ここ宝小では、「六十一年かいじ国体」で都留市を訪れる、約八〇〇名の選手・役員に記念の手づくりブローチを贈ろうと、父兄と児童が松かさを使ったブローチ作りに取り組んでいます。松かさブローチは、「全国から集まる選手の皆さんを暖かく迎え、都留市の思い出と



都留市

国体選手に
ブローチを!!

なるようなもの」と昨年から父兄や先生方が考えていたものです。 「母と子の手芸教室」でのとりくみが決まり、毎月一回土曜日の午後、宝小図工教室に父兄・児童らが集まり、来年度までに真心のこもった八〇〇個のブローチが出来上がります。 第一回目は、五月二十七日(土)に、郷土民芸品研究家の齊藤岳南先生を講師に招き、ブローチの作り方の手ほどきを受けました。いまでは、母子の協力で、作ることが出来るようになりました。 ブローチは、「市の木」赤松の松かさをはぎし、直径五センチの厚紙に張り付け、中央に山梨県の特産品である貴石の細片を散りばめ、表にラッカーをふきつけて出来上がります。